

令和5年度 第2回 「知事と語る やまなしづくり」結果概要

対話テーマ: 若者の結婚離れへの対応について

県では、本県が目指すべき姿「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向けて、知事が直接、幅広い層の県民と意見交換をすることで、県民が抱えている課題を把握し、その解決や新たな施策の立案等に生かしていきたいと考えています。

今回は、婚活・ブライダル関係者などの皆様と現状や課題について意見交換を行いました。

【日時場所】 令和5年10月10日(火) 午後2時45分から 県庁防災新館4階401・402会議室

【対話相手】 8名

(主な意見等)

- 民間の婚活イベントは参加費が高いという意見があるので、県や市町村主催で低価格の誰でも参加しやすいイベントを多く開催できれば、結婚する人も増えるのではないかと考えています。
- メタバース婚活など、今の若者のニーズに合った婚活スタイルを提案し、婚活への苦手意識やストレスを感じさせず婚活意識を芽生えさせればと考えています。
- 移住と婚活は親和性が高く、もう少し山梨の魅力が单身者に伝えられる機会が増えるといいと思う。
- 男性が女性に対して求める要素に経済力が入ってきた。しかし、中小企業ではまだ女性はパートや非正規という考え方があり、その考え方を変えなければ。
- 婚活対策は、年代を分けて考えた方がいい。
- 県外からの参加者も視野に入れて、告知の方法などを考えたほうがいい。
- 出会いの場を作って終わりではなく、その後の恋愛相談やサポートを行うとよい。
- 結婚後の税制の優遇や住宅の手当など、結婚することに対する経済的メリットを提示するのも必要。
- 結婚離れの要因として、金銭的な問題と、女性が子育てとキャリアの両立に不安を持っているところが大きいのではないかと考えています。
- 結婚をしなくてもいいと思う人、結婚と子育てを両立したい人、様々な考えがあるので、多様化に応じた制度やサポートの仕組みがあるのが望ましい。

(知事(県)の主な発言)

- 経済的な問題は極めて重要だと思っているし、子育てとキャリアの両立問題も大きな障壁になっていると承知しているので、社会全体の取り組みで合わせて解決していきたい。
- デジタルを通じることで人間だけを見て向き合う機会があるというのは一つのヒントだと思うので、それを踏まえて考えていきたい。
- 移住との親和性の話は大変重要な話だと思うので、いろいろ考えていきたい。

